

interview × 野球女子



女子野球選手のパワーで
明るく、活気あふれる町に

野球ができる環境に感謝し
地域に応援されるチームに



キャプテン

AKAIKE YUUNA
赤池 優奈
外野手

32

選手兼監督

IMA AISA
今 愛沙
投手/捕手/内野手

50

Q 枕崎イグニスに加入したきっかけは？

野球は、父の影響で昔からテレビで見たりドームで観戦したりともともと好きで、大学生の時は、沖縄の女子硬式野球チームでプレーしていました。

イグニスとの出会いは、沖縄のチームで大会参加していたとき、助っ人選手として来てくれていたのが今監督で、枕崎で女子硬式野球チームを作りたいという話を聞き、新しい環境で野球をやりたいと思い、大学卒業後に枕崎にきました。

野球を始めてから感じることは、硬式野球ができる環境が少ないということです。女子野球の人口は増えていますが、チームがどこにでもある訳ではないし、硬式野球ができる練習場所も少ないのが現状です。しかし、枕崎には硬式野球もできる立派な球場があり、こんなに練習場所の拠点として整った環境のあるチームはなかなか無いと思います。この野球が続けられる環境に感謝して、枕崎の方々から応援されるチームになれるように頑張っていきたいです！

Q どんな活動をしていきたいですか？

現在は枕崎を離れています。チームとしての練習や大会参加はもちろん、多くの方々に女子野球の魅力や面白さを伝えられるような活動をしていきたいと思っています！

応援よろしくをお願いします！

Q どんな活動を行っていますか？

枕崎市営野球場で体験練習会を開催したり、鹿児島県女性選抜チーム(高校生)の練習に参加したりして、選手の勧誘を行っています。

また、所属している選手の多くが鹿児島市在住の学生で、練習等の全ての活動を枕崎市で行うには、鹿児島市との往復に要する時間や交通費など選手に負担をかけすぎてしまうため、鹿児島市や薩摩川内市でも練習を行っています。そのほか、南薩で活動する男子社会人硬式野球クラブチーム「南薩ビクトリーズ」との合同練習などで、競技力の向上を図っています。

監督として、できる限り選手が負担なく、野球を楽しめるよう、心がけて活動を進めています。

Q これからのチームのビジョンはありますか？

女子野球を通じて、たくさんの方が枕崎を訪れてくれるような流れを作りたいと考えています。また、ボランティア活動等の地域の活動へ積極的に参加して、市民の方々と枕崎の課題や想いを共有し、女子野球選手のパワーで明るく、枕崎を活気あふれる町にしていきたいです！

できることから少しずつ取り組み、女子野球チームが枕崎で活動していてよかったと市民の方々から思ってもらえる、そして愛されるチーム作りをしていきたいと思っています。



▲Instagram



▲普段の練習の様子

選手や協力して下さる方を募集しています！

経験者も初心者の方も大歓迎です！野球を見るのが好き、少しでも興味があるという女の子は一度見学に来てみてください！

練習や体験会、大会参加予定などの情報は、インスタグラムでお知らせしています。ぜひフォローをよろしくお願います！



特集

始動!



▲公式戦に挑む選手たちの様子



▲公式戦での勝利を喜ぶ選手たち

女子硬式野球チーム 枕崎に誕生！

近年人気が高まっている女子硬式野球。全国では100以上のチームがあり、競技人口は増加傾向にあります。

そんな中、昨年、枕崎を拠点に活動する女子硬式野球チームが誕生しました。チーム名は「枕崎イグニス」。ラテン語で「炎」を意味するイグニスに、拠点とする枕崎の名を冠し、2024年の本格始動に向けて動き出しています。

その中心となっているのが、令和4年4月から本市の地域おこし協力隊として活動する今愛沙さん。スポーツによる地域おこしというミッ

ションの中で、活動の軸として掲げた女子野球チームの設立に奔走してきました。

ついに始動！ 初めての公式戦へ

令和5年12月、「枕崎イグニス」が、初めての公式戦に挑みました。

宮崎県で行われた女子硬式野球交流戦「第5回宮崎マンガリーグ」。結果は全4戦中1勝3敗。正式なメンバーが7人と人数不足のため、助っ人を借りての出場となり、課題も多々ありますが、ついに掴んだ公式戦での勝利に、選手たちは喜びをかみしめていました。